

<今日の説教のポイント マタイによる福音書 28 章 1～10 節>

①近づく者に必ず応えて下さるイエス様！

イエス様の十字架の出来事を追っていくと、いつもより女性たちが多く登場していることに気づかされます。十字架のイエス様を見つめ続け (27:55-56)、イエス様の墓までついて行き (27:61)、そしてまた一番に墓に行く女性たちです (28:1)。その彼女たちの墓への到着を待っていたかのように、イエス様復活の知らせを告げる出来事は起こったのです。聖書の神様は全ての者を救いたいと思われている神様です。しかしこの記事を通して、より強くご自分を求めて近づいて来る者を心に留めて下さる神様であることを知らされます。イエス様も、「**求めよ、さらば与えられん**」(マタイ 7:7) と言われました。私たちの目指すべき方向がここに示されています！

②復活の主と出会えるのは、主が「ここで」と示された所で！

主の天使が何を告げたかが大事です。それは、空の墓はイエス様が復活されたことの「しるし」であるということ、そして、弟子たちが復活の主に会いたいならガリラヤに行きなさい、そこで会える (5-7) ということでした。「イエス様が復活される場所が見たい」と思う人がいるかもしれませんが。しかし、主イエスの復活は人間の思いを超えた神様の出来事であり、人間が求める「証拠」ではなく「しるし」で満足すべき出来事なのです。むしろ、神様が「ここで」(7, 10) 会えるとはっきり言って下さっている所で会えるかということこそ、問題とすべきなのです。今の私たちに示された「ここで」とはどこでしょうか？ 聖書であり、教会です！ だから、私たちは復活の主に出会うために神様が用意して下さった教会の礼拝で、聖霊の神様に導かれながら聖書の御言葉に聞くのです。

③復活は前代未聞の出来事！ 故に恐ろし、されど大きな喜び！！

この箇所全体が語りかけているテーマは復活の不思議です。人は理解できないものに出会ったら恐怖を覚えます (『聖なるもの』オットー)。しかし、女性たちに現れられた復活の主は「恐れることはない」と言われたのです。むしろ、そのような恐れを覚えるほどの大きな喜びを神様は私たちに与えて下さったのです！